



ニュース&トピックス

マスクの着用について

厚生労働省より、令和5年3月13日以降のマスク着用について、『個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる』との発表がありました。トライアングルでは、感染症予防対策のためにスタッフのマスク着用は継続させていただきますが、通所してくださるお子様・保護者につきましては、個人の判断での着用をお願いいたします。

香野教授の保護者面談について

トライアングルでは、これまでのお子様の表れや、今後の在り方について、今月も保護者面談を実施します。面談は、静岡大学の香野 毅教授が行います。

6月の面談日程は、スケジュールが決まり次第、トライアングルの玄関に掲示します。

面談を希望される方は、トライアングルスタッフにお声がけください。

ご意見・ご感想をお寄せください

第23回目のニュースレター、いかがでしたか。

まだ、至らない点がたくさんあるかと思えます。今後さらに内容を充実させていくために、ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。よろしくお祈りします。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

日に 日に鮮やかになってくる若葉を渡る風が、心地よく感じられる好季節となりました。日中は汗ばむくらいになる日も少しずつ増えてきましたが、お元気で過ごしのことと思います。

ニュースレター第23号をお届けします。今回もお楽しみいただければ幸いです。この時期は、夏へと向かう季節の変わり目、お体には十分お気をつけください。

ツウヤクヒツヨウナイデスカ？

静岡大学教育学部 特別支援教育 教授 香野 毅

最近 セルフアドボカシーなる言葉をよく目にするようになりました。日本語で言えば、「自己権利擁護活動」、日常語で言えば「自分に必要なサポートを自分でまわりの人に説明して理解してもらう活動」だそうです。



例えば、難聴の方が、「周囲の音が聞こえやすいように補聴器つけています。でも音の方向が分かりにくいから、話しかけるときは正面に回って、私に分かるようにしてほしいです」といった感じですね。あるいはマタニティマークをカバンにつけている人は、静かに「妊婦なので配慮よろしく」と伝えます。白杖や車いすも同じような作用を持っています。お助けが必要な人が生きやすくなるステキな世界です。

よし、子どもたちにもセルフアドボカシー・スキルを發揮させましょう！自分に必要な支援や配慮を求めさせよう！といきたいのですが、これがなかなか難しい。いや、現実的には‘子ども’では厳しい。

これができるためには、自分のできること・難しいこと・配慮があればできることを理解して、かつ周囲に配慮を求める内容が社会的に妥当である（これを合理的配慮と言います）として認識して、周囲に適切な言い方で発信していかななくてはなりません。「あ～宿題やりたくない～」「まだ外で遊びたい～」とは違います（笑）。

そこで登場するのが保護者です。アドボカシーには「代弁」という意味もあります。子どもに代



2010年 東武モデラーズコンテスト佳作作品『ボクたちの大発見』トライアングル 飯塚 栄次先生 制作

わって、理解と配慮を求めることとなります。となると、ここで求められるのは説明する力。「先生だから（言わなくても）分かってくれる」は過ぎた期待です。正確には「先生だから話を聞いてくれる」です。お医者さんだって、患者さんの訴えを聞きながら、検査をします。診たら分かるわけではないのです。

子どものこと、説明できますか？子どもが求めていること、代弁できますか？これもなかなかですね。そこで我々の番です。子どもと周囲をつなぐ通訳者になれるように、一緒にことばを探しましょう。新年度、けっこう必要なのではないでしょうか？



スタッフ紹介



木村 彩香 先生

好きなこと：最近、カフェ巡りをしています。美味しいメニューを探すのはもちろん、お店の人やお客さんとお話をして新たなカフェの情報や地域のイベントについて聞くことで次の休日の楽しみを作っています。

やりたいこと：フィルムカメラを頂いたので、撮影の機会を増やしたいです。デジカメや一眼レフとは違い、動かす部分が多いので使い方に慣れるまで大変ですが、使いこなせるようになりたいです。

一言：今までは高学年の個別を主にやってきましたが、集団支援という場所に入り、個別では知らなかった新たな一面や成長している面をたくさんみることができると気づきました。これから集団という場面でたくさん子供達の良いところを見ることができると思うと楽しみです。

教室のひとこま

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



一年間、特に頑張った事や素敵だと思った場面を賞状にし、その子に合った〇〇賞を1人ずつ発表しました。



紙皿でピンポン玉リレー。紙皿からピンポン玉を落とさないよう慎重に…。みんな、とても素晴らしい集中力でした。



様々な形があるブロック。全てのパーツがピッタリはまるよう、集中して取り組んでいました。



みんなが大好きなスライム作り。今回は少し材料を変え、『泡ハンドソープ』でふわふわスライムを作りました。

子育てのヒント 『ふざけた態度をとってしまう子』

大人 は、子どもの態度を見て『ふざけている』『馬鹿にしている』『真面目にやっていない』と一方的に決めつけてしまうことがあるように思います。本人は、ワクワクしているだけで、ふざけているつもりはないのかもしれませんが。また、何か失敗して、どのように振る舞ったら良いのかわからなくて、そのような態度をとっている可能性もあります。頭ごなしに叱るのではなく、なぜ、そのような態度をとっているのか理解できると、こちらの対応も変わってくるのではないのでしょうか。1. 『ふざけていないで、しっかりやりなさい』という効果がない。否定するのではなく、どのようにしたら良いかを教えるようにしましょう。2. どのように行動したら良いかを、具体的に伝える。「今、大事なお話をしているから、静かにできる?」このように具体的に教えてあげましょう。3. 楽しみながら取り組むという気持ちも大切にあげよう。新しいことをするとき、ワクワクしてはしゃいでしまう子は少なくないと思います。そのような気持ちを大切に、具体的にどのような態度をとってほしいかアドバイスしてあげましょう。

阿部俊彦『見方を変えればうまくいく！発達が気になる子の子育てフレーミング』中央法規、2015年、p.22-23

スタッフのオススメゲーム『雲の上のユニコーン』

193

8年設立のヨーロッパNO.1おもちゃブランド、HABA社の人気ゲームです。HABA社は、企画・デザイン・部材までも自社で行うドイツのマイスター精神が息づいているブランド。安全性にこだわり、アイデアに富んだ知育玩具を世界中で販売しています。さて、『雲の上のユニコーン』ですが、一言で説明すると、サイコロを振ってゴールを目指すすごろくゲームです。ただ、他のすごろくゲームと違うのは、先にゴールしても必ず勝てるわけではないところ。マスを進めていく内に宝石を手に入れる楽しさがプレイを夢中にさせてくれます。その理由は、誰かがゴールをした時に宝石を一番持っていた人が勝利することになるからです。トライアングルでは、主に個別支援でこのゲームを使用しています。簡単なルールのすごろくゲームなので、低学年の子どもも楽しむことができますし、順番を待ったり、サイコロを振る際の力加減や、進むマス目の数え方などさまざまな学びがあるようです。現在、商品は旧商品に加えボードと宝石サイズが大きくなってルーレットも付属したデラックス版の二種類が併売されています。



編集後記

海外で家を建てるのは、容易でないということを思い知らされている。もう2年が過ぎたというのに、まだ完成していないのだ。先月、3社目の建築会社の契約を解除した。まともな業者がない。前受金詐欺・施工不良・工事費の使い込み・不正見積もり・不当請求等、きりが無い。正直な業者はあるが、建てる自信がないと断られてしまう。その後、やっと見つけたと思ったら、今度はやれ葬式だの、やれ子供が事故にあったのと休んでばかり。これは現実なのか？イタッ！夢ではないようだ。(M)

トライアングル

放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL : 054-273-1177 FAX : 054-266-4037

トライアングル・トライアングル両替町教室

ホームページ : <https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/>

メールアドレス : triangle@shizuoka-fukushi.or.jp